



露國ニ於ケル革命運動ノ發達(2)

米田, 庄太郎

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 25(1):63-88

(Issue Date)

1918-07

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00052906>



(其二)

京都帝國大學文科大學講師

米田庄太郎

目次

言 續

- 一 「十二月黨」革命騒動ノ起レルマデ
 - 二 「十二月黨革命騒動ノ真相
 - 三 農奴解放
 - 四 「ヴ・ナロード」運動Ⅱ「人民ノ中ニマデ」
 - 五 「ナロードナヤ・ヴガリヤ」運動Ⅱ「大官暗殺
 - 六 社會民主黨ノ始源及ビ發達（日露戦争マデ）
 - 七 社會革命黨ノ始源及ビ發達（日露戦争マデ）
- 前號所載

四 ヴ・ナロド運動人民ノ中ニマデ

「グナロド」運動（人民ノ中ニマデ）ハ、千八百七十一年頃ヨリ始マツタガ、併シ其ノ最
トモ盛ンニナツタノハ、千八百七十三年ノ終リ頃カラ翌七十四年ニカケテ、アル
而シテ此ノ運動ハ當時西歐ニ於テ起リシ國際労働黨ノ運動ノ影響ヲモ受ケテ居

ルガ、併シ根本的ニハ露國特有ノ事情ヨリ發生セル、他國ニ類ノナイ智識階級ノ一運動デアル。吾人ハ之ヲ以テ農奴解放後ノ社會的及ビ精神的狀態ノ自然ノ一產物ト見做スコトガ出來ルト思フ。夫レ農奴解放後ハ農民ハ法律上自由民トナツタ。併シ彼等ノ經濟的及ビ精神的狀態ハ尙ホ實ニ悲慘ナモノデアツタ。而シテ露國民ハ甚ダ異ナレル二分子ヨリ成立シテ居ルコトハ、智識階級ノ人々ノ目ニ深刻ニ映ジテ來タ。一ハ貧困極リテ、禽獸ニ近キ生活ヲ營ム無智無教育ナル多數ノ農民及ビ下級人民ヨリ成ルモノニシテ、他ハ奢侈ナ生活ヲ送り西歐ノ教育ヲ受ケタル貴族及ビ資産者階級ヨリ成ルモノデアル。而シテ露國ガ此ノ如ク全ク相異リテ、相互ニ理解スルコトモ出來ネバ、何等ノ交通モ行ハレナイ二分子ヨリ成立スル以上ハ、國民的統一ガ成就シ難ク、隨ツテ健全ナル國民的發達ヲナシ難イ事ハ云ノマデモナイ。此ノ事實ハ早クヨリ進歩主義ノ青年智識階級ガ感じテ居ツタコトデアルガ、農奴解放トナリテ法律上農民ガ自由民トナツタ後ニ於テ、殊ニ強ク感ゼラレテ來タ。サレバ彼等ハ多數ノ人民ヲ此ノ如キ狀態ニ放棄シテ置イテ、自分等ノミガ獨リ教育ヲ受ケテ居ルコトハ、一種ノ罪惡デアルガ如クニ感じ、又此ノ如キ形勢ハ二分子ノ分離ヲ益々擴大セシムルモノト考ヘテ來タ。而シテ此ノ感じ、

此ノ考ヘハ千八百七十三年ノ終リ頃ニ至ツテ、突然非常ニ強烈トナリ、茲ニ「人民ノ中ニマデ」ノ運動ガ猛烈ニ行ハレテ來タノデアアル。是レ農奴解放令ノ不十分ナルニ對スル彼等ノ不平ト、革命的運動ノ失敗トニヨリテ、彼等ノ感情ガ大ニ昂奮シ、精神狀態ガ大ニ緊張シ來レルヨリ産ミ出サレタル群集心理的狀態ノ結果デアラウト思フ。トニカク「人民ノ中ニマデ」ト云フ叫聲ガ、青年智識階級ノ間ニ盛ンニ起リ、而シテ彼等ハ勉強ヲ捨テ、研究ヲ放棄シ、職務ヲ去リ、或ハ勞働服ヲ纏ウテ勞働者ノ間ニ、或ハ農民服ヲ裝ウテ農民ノ間ニ進入シタ。併シ人民ノ中マデ行キテ何ヲスルカハ、豫メ判然定マツテ居ツタノデハナカツタ。又別段ニ反亂ヲ起ス考ヘモ抱テ居ラナカツタと思フ。是レ此ノ運動ハ何等秘密的性質ヲ帶ビズ、公然行ハレタコトニヨリテモ察セラレル。彼等ハ要スルニ漠然タル人道的感情ニ驅ラレテ人民教化ノ爲メニ献身の活動ヲナサントシタノデアアル。彼等ハ彼等ガ人民ト衣食ヲ共ニシ、勞働ヲ共ニシテ人民ヲ教化スルコトニヨリテ、人民ハ直チニ自覺シ、彼等ト共鳴シテ、革新的運動ヲ起シ、社會的政治的改良ヲ實行スルモノデアルト云フ、素樸的ナ幼稚ナ考ヘヲ抱イテ、彼等ノ中ニ進入シタノデアアル。併シ實際人民ノ中マデ行ツテ見ルト現實ハ全ク彼等ノ空想ト異ナツテ居ルコトヲ段々發見シタ。

人民ノ精神狀態ハ彼等ノ豫想トハ大ニ異ナツテ居ツテ、彼等ノ思想ニ一向耳ヲ借サズ、彼等ニ共鳴シナイノミカ、彼等ノ仕事勞働ノ拙劣ナルヲ見テ、却テ彼等ヲ輕蔑スル様ナ態度ヲトツテ來タ。「勞働者ハ勇士ニシテ、紳士ハ無用ノ冗物デアル」ト云フ様ナ考ヘガ、人民ノ間ニ起ツテ來タ。更ニ少ナカラヌ地方ニ於テハ農民ハ、彼等ノ目的ヲ疑ヒ、警官ノ手ニ彼等ヲ渡シタ。此クテ彼等ハ最初ノ熱ガ段々冷却スルト同時ニ、自分等ノ運動ノ効果ヲ疑ウテ來タ。サレバ其ノ儘ニ放棄シテ置イテモ此ノ運動ハ自然ニ消滅シテ、仕舞フノデアツタト思ハレルガ、當時ノ政府ハソウハ考ヘズニ、此ノ運動ノ盛シニナルノヲ見テ、非常ニ驚キ、直チニ其ノ撲滅策ヲ講ジタ而シテ間モナノ之ヲ撲滅スルコトガ出來タガ、併シ此ノ處置ハ却テ有害ノ結果ヲ生ジタ。一方ニ於テハ青年智識階級ノ冷却シカケタ革命熱ヲ再ビ燃エ上ラシタト共ニ、他方ニ於テハ政府ノ苛酷ナル處置ニヨリテ、人民ノ彼等ニ對スル同情ヲ誘發セシメタ。此クテ、ヴナロド運動ハ直接ニハ何等ノ結果ヲモ生ジナカツタガ、間接ニハ革命運動ヲ助長スルコト、ナツタ。殊ニ政府ノ此ノ處置ニヨリテ、ヴナロド運動ノ中カラ、猛烈ナル恐怖主義ノ革命黨ガ生レ、遂ニアレキサンダー第二世ノ生命ヲ犠牲ニ供スルコト、ナツタノデアアル。

却説、ヴナロド運動ヲ起セル「ナロド」ニエテ、エスヴォ黨ハ、其ノ運動ノ失敗後、自カラ二派ニ分レル傾向ヲ呈シタガ、千八百七十九年リベツクニ於テ開催サレタ革命黨會議ニ於テ、遂ニ判然二派ニ分裂シタ。一ハ「ナロド」ヴォルツイ黨ト稱セラル、モノニシテ、二ハ「チヨルノペレヂエル」ツイ黨ト稱セラル、モノデアル。前者ハ過激ナ手段ヲ用ヒテ恐怖主義的ニ革命ヲ遂行セントスルモノニシテ、其ノ機關紙トシテ「ナロドナヤ」ヴォリヤ（民意ヲ發行シテ居ツタカラ、其ノ運動ハ、「ナロドナヤ」ヴォリヤ運動ト云ハレテ居ル。後者ハ舊「ナロド」ニエチエストヴォ黨ノ理想ヲ固持シ、革命ノ準備ノ爲メニ研究、討論及ビ思想ノ普及等ヲ目的トスルモノニシテ、機關紙トシテ「チヨルノペレヂエル」（黒土分配）ヲ發行シタ。而シテ前者「ナロド」ヴォルツイ黨ハ今日ノ社會革命黨ノ前身ヲナスモノニシテ、後者「チヨルノペレヂエル」ツイ黨ヨリシテ、今日ノ社會民主黨ガ生レタノデアル。

五 「ナロドナヤ」ヴォリヤ運動大官暗殺

今千八百七十九年ニ組織サレタル「ナロドナヤ」ヴォリヤ黨ノ綱領及ビ手段ハ、如何ナルモノデアツタカト云フニ、同年ニ發表サレタル「執行委員ノ「プログラム」ニヨ

リテ、吾人ハ之ヲ最トモ明白ニ窺ヒ知ルコトガ出來ルト思フ。今此ノ文書ニヨリテ見ルニ、執行委員ハ先ヅ社會主義者及ビ人民主義者デアル。彼等ハ序言トシテ左ノ如ク述ベテ居ル。『吾人ハ只社會主義ノ原則ニヨリテノミ、人類ハ其ノ生活ニ於テ、自由、平等及ビ同胞主義ヲ體現シ、以テ共同ノ安寧幸福ト箇人ノ豊富ナル發達、隨ツテ進歩ヲ確保スルコトガ出來ルモノト確信スル。吾人ハ只人民ノ意志ノミガ社會形態ヲ裁可シ得ルモノナルコト、人民ノ發達ハ只夫レガ獨立自由デアル時、又其ノ生活ニ於テ實現サレル各觀念ガ、人民ノ良心ト意志トニヨリテ實現サレル時ニ於テノミ、健全ナルモノナルコトヲ確信スル。人民ノ安寧幸福ト人民ノ意志、此ノ二者ガ即チ吾人ノ最トモ神聖ニシテ、又吾人ヲ最トモ強ク拘束スル原則デアルノデアル』。夫レ、ヨリ「ナロドナヤ、ヴオリヤ、黨ノ、プログラム」ガ詳細ニ説述サレテ居ルガ、茲ニハ只其ノ最トモ重要ト思ハル、モノ數箇條ヲ舉グルニ止メテ置ク。

(1) 人民ハ經濟上及ビ政治上全ク奴隸ノ状態ニアリテ、而シテ政府ハ人民ノ壓制者ヲ造リ、又之ヲ保護シテ居ル。更ニ國家ハ最大資本的勢力ニシテ、又人民ノ唯一ノ政治的壓制者デアル。

(2) 此等ノ悲慘ナル状態ニ於テ、生活スルニ拘ラズ、人民ハ土地ノ權利、地方自治ノ

權利聯邦制度、良心及ビ言論ノ自由等ニ關スル昔ヨリノ傳來的觀念ヲ保持シテ居ル。而シテ人民ガ其ノ意志ニ從ウテ生活スルヲ得ル場合ニ於テノミ、此等ノ觀念ハ健全ニ發達シ、露國ノ歴史ハ全然新シキ方針ニ進ムデアラウ。

(3) サレバ吾人ノ第一ノ仕事ハ、人民ノ手ニ權力ヲ獲取スル目的ヲ以テ、政治的革命ヲ遂行スルコトデアル。

(4) 人民ノ意志ハ普通選舉制ニヨリテ自由ニ選舉サレタル憲法會議ニヨリテ、相當ニヨク表現サレルデアラウ。サレバ吾人ハ現在ノ政府ヨリ政權ヲ取去リテ、之ヲ憲法會議ニ移スコトヲ目的トスル。

(5) 吾人ハ人民ノ意志ニ服從スルガ、黨派トシテハ、我黨ノ綱領ヲ何ヨリモ第一ニ尊重シ、革命ノ行ハル、以前ニ之ヲ大ニ宣傳シ、而シテ憲法會議ニ於テハ、全力ヲ盡シテ之ヲ主張セントスルノデアル。

右ノプログラムハ、更ニ其ノ特殊的主張トシテ下ノ箇條ヲ列舉シテ居ル。(一)一切ノ國事ヲ處置スルニ十分ナル權力ヲ有スル人民代表機關、(二)地方自治、(三)土地ハ人民ノ所有ニ屬ス可キコト、(四)一切ク工場ハ勞働者ノ所有ニ屬ス可キコト、

(五)信仰、言論、出版、集會、結社、及ビ選舉ノ完全ナル自由、(六)何等ノ階級的又ハ財産的

制限ヲ有セザル普通選舉法、(七)常備軍ヲ廢止シテ地方義勇兵制度ヲ設クルコト、終リニ右ノ綱領ヲ實現スル手段方法トシテ下ノ箇條ヲ列舉シテ居ル。(一)社會改良ノ一手段トシテノ民主的革命的革命ノ觀念ヲ總テノ階級ニ於テ養成セシメ、且ツ自黨ノ綱領ヲ一般ニ知悉セシムル一般的目的、並ニ現在ノ制度ニ對シテ絶エズ反抗シ、憲法會議ノ招集ヲ要求スル特殊的目的ヲ以テ大ニ宣傳運動ヲ行ナフコト、但シ反抗ノ形式ハ、集會、示威運動、請願、建白、及ビ納稅ノ拒否、其他、(二)破壞的及ビ恐怖主義的活動、其ノ主要ナル形式ハ政府ニアリテ最トモ民意ヲ壓迫セントスル人々ヲ根絶スルコト、政府ノ間者ニ對シテ自黨ヲ防衛スルコト、政府ノ爲メニ、人民ニ對シテ最トモ慘酷ナル暴行ヲ加フルコトニ參與セル人々ヲ處罰スルコト、但シ此等ノ活動ノ目的ハ、政府ノ權力ヲ破壞シ政府ト戰フコトノ可能ナルヲ絶エズ證明シ、而シテ此ノ手段ニヨリテ、人民ノ間ニ革命的精神ヲ發達サセルニアルノデア(三)多數ノ秘密結社ヲ設置シ、而シテ一中心ニ之ヲ統括スルコト、(四)政府社會及ビ民間ニ於テ有力ナル關係及ビ地位ヲ得ルコト、(五)人民ガ黨派ノ指導ヲ要セズシテ革命ヲ起シ得ルマデ待タズシテ、革命ノ開始者、指導者タルコトニ力ヲ注グコト。

今右ノ如キ綱領ヲ立テ、又右ノ手段ヲ用ヒテ其ノ實現ヲ圖ラントセル「ナロドナヤ、ヴオリヤ」黨ハ、千八百七十九年ニ判然組織サレタルガ、其ノ中堅トナレル人々ハ既ニ其ノ前年七十八年ニ於テ活動ヲ始メ、同年二月ニハキエヴノ檢事、正コトリヤレヴスキーノ暗殺ヲ試ミタガ、千八百七十九年ニ入リテヨリ、大官ノ暗殺ハ頻々トシテ行ハレ、且ツ皇帝ノ暗殺モ屢々試ミラレタ。殊ニ宮廷列車ノ爆發及ビ冬宮爆發ノ企ノ如キハ、最トモ大仕掛ナ、又恐ロシキモノデアツタ。而シテ千八百八十一年二月ニハ、アレキサンダー第二世ハ遂ニ彼等ノ兇手ニカ、リテ崩御サレタ。夫レ千八百七十九年ニ入リテ、彼等ノ恐怖主義的活動ノ始マルヤ、政府ハ彼等ニ對スル警戒ヲ大ニ嚴ニシ、且ツ種々ナル手段ヲ用ヒテ、彼等ノ探偵、逮捕及ビ處刑ニ力ヲ注イダガ、一時ハ彼等ヲ逮捕スレバスルホド、其ノ數ハ愈々増加スルガ如キ觀ヲ呈シ、又彼等ノ暗殺手段ハ益々巧妙ヲ極メタ。併シ皇帝暗殺ノ後ハ、政府ノ活動ハ非常ニ盛シニナリ、「ナロドナヤ、ヴオリヤ」黨員ハ種々ナル方法ニヨリテ續々逮捕サレタ。ソレデモ尙ホ千八百八十五年ニ彼等ノ殘徒ハ軍隊間ニ新シキ同情者ヲ得テ、政府顛覆ノ大計畫ヲ起シ、其ノ準備ニ力ヲ盡クシテ居ツタガ、事成ラズシテ捕ヘラレタ。而シテ千八百八十七年三月一日、ベテログラードニ於テ爆裂彈ヲ所持セ

ル彼等ノ殘徒ノ小團體ガ逮捕セラレ、同年五月八日死刑ニ處セラレタガ、夫レニテ「ナロドナヤ」ヴオリヤ黨ハ全ク消滅シタノデアル。

今アレキサンダー第二世ノ治世ハ、露國近世史上最トモ光榮アル一時代デアル。同帝ハ先帝ニコラス第一世トハ異リテ、比較的ニ民意ヲ尊重セラル、傾向ガアリ、其ノ即位ノ初メヨリ種々ナル改革ニ着手セラレ、假令不完全ナリシニセヨ、トニカク傳來ノ大問題タリシ農奴解放ヲ斷行セラレ、又圖書檢閲制度ヲ改良サレシガ爲メ同帝ノ時代ハ實ニ露國思想史上最トモ重大ナル地位ヲ占メテ居ルノデアル。今日露國ノ世界的文豪ト認メラレテ居ル人々ハ、實ニ同帝ノ時代ニ於テ盛ンニ活動シ、又ハ活動ヲ始メタノデ、ツルゲニエヴヤドストイエヴスキーノ大創作ノ現ハレタルハ此ノ時代ニ於テバアリ、又サルチコヴ、ゴンチヤロヴ、ビセムスキー、リエスコヴ、ネクラソヴ、オストヴスキー及ビトルストイ等モ此時代ニ創作ヲ始メタノデアル。更ニ同帝ハ憲法ノ制定ニモ心ヲ煩ハサレ、現ニ其ノ暗殺サレシ日ニハ、ロリス、メリコヴ伯ノ憲法案ハ皇帝ノ命ニヨリテ、國立印刷所ヘ廻ハサレテ居ツタト云ハレテ居ル。但シ同伯ノ憲法案ナルモノハ、實質上進歩主義ノ人々ノ希望スルガ如キモノデハナカツタカラ、假令夫レガ公布サレタトテ、果シテ過激ナル「ナロドナ

ヤ、ヴオリヤ、黨ノ運動ヲ緩和セシヤ否ヤハ疑問デアル。併シトニカク、自由主義ニ對シテ比較的ニ最トモ寛大ナリシ「ゾア」ガ、却テ同主義者ノ兇手ニカ、リテ崩御サレタコトハ、實ニ悲ム可キコトデアル。而シテ同帝暗殺ノ後ハ、政府ノ革命黨ニ對スル政策ハ云フマデモナク、一般ニ自由思想壓迫ノ方針ハ非常ニ嚴酷トナリ、茲ニ反動主義全盛ノ時代ガ現ハレテ來タ。露國ノ進歩主義者ハ千八百八十年代ヲ以テ暗黒時代ト見做シテ居ル。蓋シ此ノ時代ニ於テハ、「インテリゲンチヤ」ノ活動ハ殆ンド全ク停止シタカラデアル。而シテ其ノ原因ハ、政府ノ嚴酷ナル反動的政策ニモアルガ、併シ夫レバカリデモナイ。其ノ他ニモ種々ナル事情ガ原因トシテ認メラレル。茲ニ其ノ主要ナルモノニツテ舉ゲテ置クガ、一ハ「インテリゲンチヤ」階級内ヨリシテ、其ノ最トモ敢爲ノ精神ニ富メル活動的ナル分子ガ、死刑又ハ流刑ニヨリテ除キ去ラレ、主トシテ薄志弱行ノ分子ガ殘ツタコトデアル。當時ノ敗殘ノ「インテリゲンチヤ」ハ如何ニ憐レナル精神狀態ニアツタカハ、チエコヴノ作ニ最トモヨク描寫サレテ居ルガ、彼等ハ幾度モノ失敗ニヨリテ、全ク失望落膽シテ自放自棄ノ狀態ニ陥リ、「ドウデモナル様ニナレ」ト云フガ如キ捨鉢的ナ態度ヲトリ、働クデモナケレバ、考ヘルデモナク、只世間ノ餘計者餘計ナ人間トシテ、放浪的ニ其ノ

日、其ノ日ヲ送り、遂ニハ何ノ意味モナク自殺シテ仕舞フト云フガ如キ有様デアツタ。二ハ千八百八十年代ノ中頃ヨリシテ露國ノ工業界ガ西歐ノ影響ニヨリテ好景氣ヲ呈シ、又農業界ニ於テハ可ナリノ豐作ガ數年間續イタコトデアル。ツマリ經濟界ノ好景氣ニヨリテ、一時一般人民ノ生活ガヤ、良好ニナリ、不平不滿ノ氣ガ薄ライダノデアル。併シ千八百九十年ニ入りテヨリ又々經濟界ノ形勢ガ險惡ニナリ、再ビ革命熱ガ勃興シテ來タ。而シテ此ノ時代ニ入りテヨリ、革命運動ノ當事者モ亦變ハツテ來タ。即チ工業勞働者、都市勞働者ガ革命運動ノ實行の勢力トシテ重要ナル地位ヲ占メテ來タ。此クテ露國ノ革命運動ハ最近代のナ革命運動トナツテ來タノデアル。

六 社會民主黨ノ始源及ビ發達(日露戰爭マデ)

サキニ述ベシ如ク、「ヴナロド運動」ノ失敗ハ、「ナロドニチニストヴオ」ヲ過激ナル「ナロドナヤ・ヴオリヤ」黨民意黨ト、穩和ナル「チヨルノ・ペレデエルチ」黨黒土分配黨トニ分裂セシメタガ、盛ンニ恐怖主義的手段ヲ用ヒテ、續々大官ヲ暗殺シ遂ニハアレキサンダー第二世ヲモ暗殺スルニ至ルヤ、政府ハ革命黨ヲ撲滅スル爲メニ、非常

ニ峻嚴ナル方法ヲ用ヒ、後者モ亦大ニ壓迫サレタ。ソコデ後者ノ黨員モ續々露國ヲ逃レテ外國ニ走ツタガ、殊ニ瑞西ノ諸都會ニ集マルモノガ多カツタ。而シテ其ノ中ニハ、後ニ「露國マールクス主義ノ父」ト呼バレタルブレハノヴヲ始メ、アクセルロド、デイチ、イゲナトヴ等ノ人々ガアツタガ、彼等ハ露國革命運動ノ數次ノ失敗ノ跡ヲ顧ミテ、其ノ原因ハ其ノ主義或ハ思想ノ謬妄ナルコト、少クモ其ノ時代後レノモノナルコトニアルヲ覺リ、茲ニ大ニ西歐ノ革命運動ヲ研究シ始メタ。夫ヨリマールクス派ノ社會民主主義ガ、最トモ科學的ニシテ、且ツ現代的ナルヲ認メ、遂ニ之ヲ遵奉スルコト、ナツタ。ソコデ彼等ハ千八百八十三年ニ「勞働解放團」ト稱スル社會民主的一團體ヲ組織シタ。是レ露國人ノ組織シタ最初ノ社會民主的團體デアル。然ルニ當時多數ノ露國青年ガ瑞西ニ遊學シテ居ツタカラ、彼等ハ此ノ團體ニ加入シ、又ハ其ノ影響ヲ受ケテ盛ンニマールクス說ヲ研究シ始メタ。而シテ又彼等ヲ通ジテ露國內ニ社會民主主義思想ハ大ニ傳ハツタ。但シマールクスノ思想ハ早クヨリ露國ノ思想界ニ知ラレテ居ツタガ、其ノ同國ノ社會思想ノ上ニ著シキ影響ヲ及ボシ始メタルハ、此ノ頃カラデアアル。而シテ千八百八十五年ニハ、ペテログラードニ於テ、ブラゴエヴ、チャリトヴ等ニヨリテ、社會民主的一團體ガ組織サレ

タ。是レ露國內ニ於テ組織サレタ最初ノ社會民主的團體デアツタト思フ。此ノ團體ハ機關新聞ヲモ發行シタガ僅カニ二號ヲ出セシノミニテ、直チニ其ノ發行ヲ停止セラレ、且ツ其ノ黨員ハ逮捕サレ、間モナク消滅シタ。夫レヨリ千八百九十年代ニ入ルマデハ、露國ノ社會民主々義者ハ瑞西ニ於テブレハノヴノ率ユル勞働解放團ヲ中心トシテ、專ラ社會主義及ビ社會問題ノ研究ニ力ヲ盡クシテ居ツタ。且ツ其ノ頃ハ政府ノ革命黨取締リガ甚ダ嚴重ナリシト、又經濟界ガ好景氣ナリシ爲メ、大體上民心ハ靜穩デアツテ、革命主義者ノ乘ズル機會ハナカツタ。

然ルニ千八百九十一年ノ不作ト疫病ノ流行トハ、再ビ民心ノ動搖ヲ生ゼシメタガ、ブレハノヴノ率ユル社會民主的團體ハ此ノ機ニ乗ジテ運動ヲ起ソウトシタ。彼等ハ先ヅ露國內ノ一切ノ自由主義及ビ民主々義ノ分子ヲ結合シテ、反政府の大合同團結ヲ組織セント企ダテ、民權黨ナルモノヲ設立シタ。併シ此ノ團體ハ別ニ是レト云フ結果ヲ齎ラサズ、且ツ千八百九十四年ニ至ツテ政府ニヨリテ解放サレタガ、而モ千九百五年及ビ千九百十七年ノ大革命ニ於テ、此ノ種ノ大合同ガ甚ダ重要ナル役目ヲ演ジテ居ルコトヲ考ヘルト、右ノ團結ハ其ノ最初ノ企ダテトシテ、露國ノ革命史上又意義アルモノデアル。

今社會民主々義者ノ右ノ計畫ハ全然失敗シタガ、併シ千八百九十二年頃ヨリ、露國ノ工業ガ復活シテ來タコトハ勞働者ノ數ヲ大ニ増加セシメタ。且ツ是レト同時ニ彼等ハ段々自覺シ來リテ彼等自カラ運動ヲ起サントスル傾向ガ發達シタ。是レ露國ノ革命史ニ於ケル一大變動ヲ意味スルモノデアアル。ト云フノハ從來革命騷動ヲ起セシモノハ主トシテ農民ニシテ、又革命主義ノ「インテリゲンチヤ」ガ、其ノ目的ヲ成就スル手段トシテ主トシテ依賴シテ居ツタノハ矢張農民デアツタガ、然ルニ此ノ頃ヨリシテ都市勞働者ガ革命運動ノ主動力トナツテ來タカラデアアルツマリ露國ノ革命運動ハ最近代の革命運動トナツテ來タノデアアル。而シテマルクス派ノ社會民主々義ハ本來勞働者ノ覺醒ヲ地盤トシテ立テラレタルモノデアアルカラ、茲ニ該主義ハ適當ナル地盤ヲ見出シテ大ニ活動ヲ始メテ來タ。此クテ千八百九十三年後ノ革命的運動ニ於テハ、其ノ原動力タリシモノハ、最早傳來ノ人民主義思想デハナクシテ、社會民主々義思想デアツタ。而シテ社會民主々義ノ「インテリゲンチヤ」ハ勞働者ノ間ニ入り、彼等ト親密ニ接觸シテ、或ハ勞働組合ノ組織ヲ助ケ、或ハ資金貯蓄ノ方法ヲ講ジ、或ハ同盟罷業ヲ指導シ、又ハ援助シタ。此ノ形勢ヲ見テ政府ハ大ニ驚キ、既ニ千八百九十四年頃ヨリシテ、其ノ鎮壓ニ着手シ、勞働

組合ノ組織ニ盡力スル、インテリゲンチヤヲ逮捕シ、又カ、ル組合ヲ組織セル勞働者ヲ捕ヘテ之ヲ其ノ郷里ニ追ヒ歸シタ。併シ此ノ政策ハ豫期トハ全ク反對ノ結果ヲ生ジタ。一方ニ於テハ勞働組合ノ組織ニ奔走スル、インヨリゲンチヤヲ逮捕スレバスルホド、益々彼等ノ數ハ増加スルト同時ニ、他方ニ於テハ郷里ニ追ヒ歸サレタ勞働者ハ、益々反政府的感情ヲ強メ、而シテ郷里ノ農民ノ間ニ潛カニ社會民主的思想ヲ散布シタ。此クテ該思想ハ農民間ニモ傳播シテ來タノデアル。

サレド此ノ頃諸處ノ都市ニ於テ設立サレタ勞働組合ハ、夫レ夫レ別々ニ設立サレ、相互ニ孤立シテ居ツテ、彼等ノ間ニ何等ノ連絡モナカツタ。且ツ社會民主々義ノ政治的方面ヲ重ンズル所謂政治主義ノモノト、政治的方面ニハアマリ或ハ全ク頓着セズ、主トシテ勞働者ノ經濟的改善ヲ圖ル純經濟的運動トシテ發展セントスル所謂經濟主義ノモノトガ、分レテ居ツタ。殊ニ後者ノ方ガ遙カニ有力デアツタト思ハレル。此クテ當時ニ於テハ、マダ政黨トシテ組織サレタル社會民主黨ナルモノハ存在セズ、又勞働者運動ハ組織アル一全體トシテ行ハレテ居ラナカツタ。併シ勞働運動ニトリテカ、ル狀態ノ甚ダ不利益ナルハ云フマデモナイ。ソコデ社會民主的勞働團體ノ大團結ヲ作ル必要ハ痛切ニ感ゼラレテ、屢々試ミラレタニ拘ラズ、永ク成功シナカツタガ、遂ニ千八百九十八年二月ミンスクニ於テ社會民主

々義者ノ第一回大會ガ開催サレルコト、ナツタ。併シ此ノ大會ハ秘密ニ催サレ、且ツ此ノ際會合シタルハ主トシテペトログラド、モスコウ、キエヴ、エカテリノスラウ等ノ奮闘同盟會ノ代表者ト、猶太社會民主團結ノ代表者トデアツテ、公式ノ大會トハ認メラレナカツタ。而モ此ノ大會ニ於テ、始メテ「露國社會民主的勞働黨」普通ニ「社會民主黨」ト稱セラルルモノガ、組織サレテタノデ、此ノ大會ハ露國ニ於ケル社會民主黨ノ發達史上甚ダ重要ナル意義ヲ有スルモノデアル。

今此ノ大會ノ記事ハ保存サレテ居ラナイカラ、詳シキコトハ知り得ラレナイガ、併シ發起者ノ「プログラム」ヤ、大會ノ宣言書等ニヨリテ見ルト、當時露國ノ社會民主々義者ノ間ニ、三派ノ思潮ガ流レテ居ツタコトガ察セラレル。一ハフレハノヴノ綱領ヲ奉スル「勞働解放團」ノ思潮、二ハ英國ノ職工組合主義ト同様ナル所謂「經濟主義者」ノ思潮、三ハ今日ノ過激派ノ主領レーニン一派ノ思潮デアル。而シテ其ノ宣言書ニヨリテ見ルト、此ノ大會ニ於テハ一般ニブレハノヴ派ノ思想ノ一部分トレーニン派ノ思想ノ一部分トガ採用サレタト思フ。其ノ最トモ根本的ニ重要ナル點ハ「社會的革命」ノ成就ハ、「プロレタリア階級」ノ歴史的大使命デアラチバナラヌガ、併シ其ノ第一歩ハ政治的革命デアラネバナラヌト云フコト、中央集權的ニ社會民主黨ヲ組織スルト云フコト、デアルト思フ。此クテ純經濟主義ハ此ノ大會

ニ於テ全ク敗北セシモノト云ハネバナラス。併シ實際ニ於テハ此ノ大會ノ宣言書ハ一般ニ承認サレズ、且ツ純經濟主義ハ大ニ勢力ヲ振ウテ居ツタ。而シテ右ノ大會ニ於テ組織サレタル露國社會民主的勞働黨ノ幹部ハ、間者ノ密告ニヨリテ、直チニ逮捕サレタカラ、社會民主的勞働團體ハ再ビ元ノ分裂的孤立的狀態ニ陥ツタ。而シテ彼等ノ政治的運動ハ全ク閉息シ、主トシテ同盟罷業ニヨリテ純經濟的目的ヲ達セントスル運動ノミガ行ハレタ。併シ翌千八百九十九年ヨリシテ純經濟主義ヲシテ衰退セシメ、政治主義ヲシテ大ニ勢力ヲ振ハシムル事情ガ起ツテ來タ。夫レハ經濟界ニ於ケル不景氣ノ襲來ニヨリテ、同盟罷業ガ失敗スル場合ノ大ニ増加シテ來タコトデアル。夫レ經濟界ガ好景氣ヲ呈スル場合ニハ、企業家ノ收益ガ多イカラ、自ガラ勞働者ノ要求ニ應ズル傾向ガアルガ、併シ不景氣ノ時ニハ、到底之レニ應ズルコトガ出來ナイノミナラズ、同盟罷業ガ却テ企業家ヲ益スル場合モアル。此クテ千八百九十九年後ハ同盟罷業ノ不成功ニ了ル場合ガ大ニ増加シテ來タ。此クテ勞働團體ハ經濟主義ノ効力ヲ疑ヒ始メタガ、更ニ此ノ際政府ハ企業家ヲ助ケテ、勞働者ヲ壓迫スル方針ヲトツタカラ、彼等ノ反政府的感情ハ大ニ強マリ、資本家ヲ征服スルニハ、先ヅ政府ヲ征服セネバナラスト云フ思想ガ、勃興シテ來タ。ソレヨリシテ勞働者間ニ於テ政治的の革命ノ傾向ハ盛ンニ起ツテ來タ。而シテ千

九百年ヨリ勞働者及ビ學生ノ革命的示威運動ハ諸處ニ於テ頻々ト起ツタ。又政治的意義ヲ有スル同盟罷業ハ増加シテ來タ。サレバ經濟主義ガ大ニ勢力ヲ振ヒシ間ハ、殆ンド全ク壓迫サレテ居ツタ。フレカノウヤアクセルロドノ率ユル團體ハ、大ニ活動シテ來タ。而シテ千九百三年ニハ、ストツクホルムニ於テ社會民主黨ノ第二大會ガ開催サレタ。此ノ大會ニ於テハ最早經濟主義ハ問題トナラズ、議論ハ主トシテ政黨組織ノ方法ニ關シテ行ハレタガ、中央集權的ニ社會民主黨ヲ組織シ、且ツ陰謀團ノ性質ヲ有スル幹部ニヨリテ、之ヲ指揮セントスルレーニンノ過激ナル主張ガ、遂ニ多數者ノ贊成ヲ得、而シテ之レニ反對スル穩和ナルブレハノヴノ主張ハ、少數者ノ贊成スラ得ナカツタ。而モブレハノヴ派ハ其ノ主張ヲ固守シタカラ、茲ニ兩派ノ分離スル傾向ガ起ツタ。而シテレーニン派ハ多數者ノ贊成ヲ得タカラ、「ボルシエヴィキー」(多數派)ト稱スルニ對シテ、ブレハノヴ派ハ「メヌシエヴィキー」(少數派)ト稱セラル、コト、ナツタ。此ノ如クニシテ今日革命政府ノ中堅ヲナシテ居ル「ボルシエヴィキー」ガ起ツタノデアル。

七 社會革命黨ノ始原及ビ發達(日露戰爭マデ)

サキニ述ベシ如ク、「ナロドナヤ・ヴオリヤ」黨ハ千八百八十七年ニ於テ全ク撲滅

サレタノデアルガ、併シ其ノ過激ナル革命思想ハ決シテ消滅シナカツタ。而シテ間モナク其處此處ニ之ヲ繼承スル「インテリゲンチヤ」ノ小團體ガ秘密ニ組織サレタ。併シ其等ノ秘密團體ハ相互ニ孤立シテ居ツテ、其ノ勢力甚ダ微弱デアツタ。且ツ千八百九十年代ノ終リ頃ニ至ルマデハ、社會民主々義ノ活動ニ全ク壓倒サレテ居ツタ。殊ニ彼等ハ社會民主的勞働團體ノ多數ガ所謂經濟主義ヲ奉ジ、同盟罷業ニヨリテ其ノ經濟的目的ヲ達スレバ、夫レニテ満足シ敢テ革命ヲ遂行セントスル意志ナキヲ見テ其ノ運動ニ對シテ不滿ノ念ヲ抱キ之ヲ批評シテ居ツタガ爲メニ勞働者ハ、彼等ヲ以テ勞働運動ニ反對スルモノ、如ク考ヘタカラ、彼等ハ勞働者ノ間ニ入リテ運動スルコトハ出來ナカツタ。併シ彼等モ千八百九十年代ノ終リ頃ニ至リテ、種々ナル事情ニヨリテ、段々勢力ヲ得テ來タカラ、千八百九十八年ニハ大會ヲ開キテ彼等ノ大團結ヲ企ダテ、而シテ其ノ團結ヲ社會主義革命者同盟ト稱シタ。併シ此ノ大會ニ於テ合同セル彼等ノ團體ハアマリ多クナカツタガ、更ニ千九百年ニ至ツテ一層大ナル團結ガ成立シ茲ニ「社會主義革命黨」即チ普通ニ「社會革命黨」ト稱セラル、モノガ組織サレタ。併シ同主義ノ革命團體ガ悉ク「社會革命黨」ニ加入シタノハ其翌年千九百一年ノ終リデアル。ソレデ「社會革命黨」ハ一般ニ千九百一年ニ組織サレタモノト見做サレテ居ル。

今社會革命黨ハ上ニ述ベシガ如キ事情ニテ一時勞働者ノ間ニ受ケ容レラレナ
カツタシ、且ツ彼等モ勞働者運動ノ不徹底ナルヲ不滿ニ感ジテ居ツタカラ、彼等ハ
農民間ニ革命思想ヲ宣傳スルコトニ殆ンド全力ヲ注イダ。而シテ千九百年ニ彼
等ノ團結ガ大體上成立スルヤ、其ノ最初ニ公刊シタ小冊子ノ一ハ、特ニ農民ヲ目當
トセルモノニシテ、其ノ題名モ千八百六十一年ノ農奴解放ヲ紀念スル爲メニ、二月
十九日「ト附ケラレテ居ル。此クテ其ノ後社會民主黨ハ大體上勞働者ヲ根據トシ
テ發達セルニ對シテ、社會革命黨ハ大體上農民ヲ根據トシ而シテ之レニ學校教師、
小官公吏等ガ附屬シテ發達シタノデアル。

却說社會革命黨ハ其ノ成立ヲ告ゲ、其ノ活動ヲ始メントスルヤ、否ヤ、直チニ一大
困難ニ遭遇シタ。而シテ其ノ困難ヲ避ケントスルコトガ、遂ニ彼等ヲシテ過激ナ
ル恐怖主義的手段ヲ採ルニ至ラシメタノデアル。夫レ社會革命黨ニトリテ先ヅ
第一ニ必要ナルコトハ、農民及ビ勞働者ノ間ニ入リテ、當時彼等ノ拘ハレテ居ツタ
偏狹ナル經濟主義的思想ヲ打破シテ、徹底セル革命思想ヲ宣傳シ、普及スルコトデ
アツタ。然ルニ宣傳ノ方法ニアリテ彼等ヲ覺醒スルニハ、多クノ年月ヲ要シ、且ツ
絶エズ政府ト衝突シテ、其ノ黨員ガ逮捕サレル恐れガアル。是レマデノ革命運動
ハ總テ右ノ如クニシテ失敗シタ。サレバ宣傳ノ必要ハ云フマデモナイガ、而モ只

之レノミニ依頼スルトキハ其ノ目的ヲ達シナイ中ニ、再ビ其ノ黨員ガ絶滅スル恐れガアル。此クテ彼等ハ宣傳ノ上ニ、更ニ一層有効ナル方法ヲ工夫スルコトガ必要ト考ヘタ。而シテ此ノ際彼等ノ思ヒ起セシコトハ、「ナロドナヤ、ヴオリヤ」黨ノ用ヒタル恐怖主義的手段デアル。當時ノ彼等ノ考ヘニヨルト、ナル程「ナロドナヤ、ヴオリヤ」黨ノ恐怖主義的手段ハ成功シナカッタ。併シ其ノ時ノ事情ヲ能ク考察シテ見ルト、「ナロドナヤ、ヴオリヤ」黨ハ僅カナ黨員シカ有シテ居ラナカッタノデアルガ、而モ其等ノ小數ノ人員ガ、強大ナル當時ノ政府ヲシテ、大ニ戰慄セシメタルハ、實ニ其ノ恐怖主義的手段ニヨリテアル。而シテ假令彼等ハ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナカッタニセヨトニカク天下ノ形勢ニ重大ナル變動ヲ生ゼシメタコトハ疑ハレナイ。尙ホ彼等ノ時代ニ於テハ、輿論ハ政府ニ同情シテ居ラナカッタニシテモ、少クモ政府ニ對シテアマリ不平ノ聲ヲ漏ラサズ、アマリ反政府的調子ヲ帶ビテ居ラナカッタ。然ルニ今ヤ形勢ハ大ニ變ツテ居ル。「プロレタリア」ノ數ハ、大ニ増加シテ、且ツ都市ニ集中シ、而シテ工業的恐慌ニ苦メラレテ居ル。農民モヤハリ飢饉ニ苦メラレテ居ル。要スルニ工業的及ビ農業的恐慌ニヨリテ、勞働者モ農民モ共ニ大ニ苦ンデ居ル。而モ政府ハ彼等ヲ救済スル爲メニ適當ナル方法ヲ講ズルヲ得ズ、甚ダ無能デアルコトヲ明ラカニ示シテ居ル。ソコデ勞働者モ農

民モ共ニ、政府ニ對スル不平不滿ノ氣ニ充チ滿チテ居ツテ、革命思想ノ宣傳ニ甚ダ都合ヨキ狀態ニアル。サレバ此ノ際恐怖主義的手段ヲ巧妙ニ運用スレバ、大ニ民心ヲ昂奮セシメテ、暫時ノ中ニ革命思想ヲ容易ク全國民ニ普及セシメ、以テ彼等ノ爆發、蜂起ヲ誘致スルデアラウ。

社會革命黨ハ以上ノ如クニ考ヘテ、茲ニ恐怖主義的手段ヲ盛ンニ用ヒ、大官連ノ暗殺ヲ企ダテ、タノデアルガ、彼等ノ犠牲トナツタ大官連ハ隨分多イ。其ノ主ナルモノヲ擧グレバ、千九百一年ニハ文部大臣ボゴリエボヅハ暗殺セラレ、千九百二年ニハ内務大臣シビヤギン、千九百三年ニハウフア縣ノ知事ボクダノヴィチ、千九百四年ニハ内務大臣フレーヴエ、千九百五年ニハセルギイウス大公、及ビシユーヴァロヅ伯等ガ暗殺サレタ。併シ千九百六年六月ノ大會ニ於テ、其ノ後ハ恐怖主義的奮闘ヲ行ハナイコトニ決議サレタ。是レ過激ナル暗殺手段ガ豫期ノ効果ヲ齎ラサナイノミカ、夫レガ爲メニ社會革命黨ハ輿論ノ非難ヲ受ケ、世人ノ同情ヲ失ナフ恐レアルコトガ覺ラレタカラデアル。サレド社會革命黨内ニ於テモ、社會民主黨内ニ於ケルト同ジク、ヤハリ硬軟ノ二派ガ分レ、其ノ過激ナルモノハ、「マキシマリスト」ト稱セラレ、而シテ其ノ比較的ニ穩和ナルモノハ、「ミニマリスト」ト稱セラレテ居ル。

今社會革命黨モ亦社會民主黨モ、共ニ露國ノ獨裁君主制ヲ倒シテ社會的革命ヲ成就センコトヲ目的トスルモノデアリ、又兩者共ニ土地ノ公有及ビ一切ノ生産手段ノ公布ヲ目的トスルモノデアアル。サレバ兩者ハ其ノ根本的目的ニ於テハ相一致シテ居ルノデアアル。然ルニ兩者ノ間ニハ常ニ軋轢ガ行ハレ、相合同シテ事ヲ學デ、十分ニ一致協力シナケレバナラヌ場合ニ於テモ、尙ホ之ヲナスコトノ出來ナイノハ如何ナル理由ニヨルカ、茲ニ此ノ問題ヲ詳シク論述スルコトハ出來ナイカラ、兩者ノ間ニ存スル大體上ノ差異ヲ極簡單ニ述ベテ、以テ其ノ軋轢ノ起ル所以ノ一斑ヲ明ラカニシテ置カウト思フ。

(1) 社會革命黨 勞働全體ヲ代表シ、何レノ種類ノ勞働者ヲ使役シ其ノ利益ヲ統取スルモノニモ反對スル。インテリゲンチヤ、農民及工業勞働者ノ總テヲ結合セントスルモノニシテ、階級的黨派デナイ。

社會民主黨 工業勞働者階級トシテノ「プロレタリア」ヲ代表シ、階級闘爭ヲ成就セントスル。

(2) 社會革命黨 農民ハ國民中最大多數ヲ占ムル民衆ニシテ、彼等ノ革命化ハ先ヅ第一ニ必要デアアル。而シテ工業勞働者ハ之レニ伴ナフ可キモノデアアル。又農民ハ決シテ小「ブルヂュア」ニ非ズシテ、公有主義者デアアル。

社會民主黨農民ハ本來小ブルデユアニシテ、革命的勢力トシテハ、工業労働者ニ劣ルモノデアル。

(3) 社會革命黨「ミール」制度ハ本質的ナル社會主義の一要素ニシテ、種々ナル缺點ヲ有スルガ、而モ其等ノ缺點ハ全ク除去シ得ラレルモノデアル。

社會民主黨「ミール」制度ハ既ニ其ノ使命ヲ果セルモノニシテ、今日デハ死滅シツ、アル一ノ反動的保守的の制度デアル。

(4) 社會革命黨土地所有ノ小農民ハ、大地主ニヨリテ滅サル、モノデナク、之ニ反シテ其ノ數ハ増大シテ居ル。

社會民主黨土地所有ノ小農民ハ大地主ニヨリテ漸次ニ滅サル、デアラウ
(5) 社會革命黨何人モ土地ヲ私有ス可キモノデナク、土地ハ總テノ人々ニ屬スルモノデアル。土地ノ私有及ビ其ノ所有權ノ自由ハ、只富者ヲノミ利益スルモノデアル。

社會民主黨土地所有權ノ自由ニヨリテ、土地ノ集中ハ促進サル、ヲ得。

(6) 社會革命黨恐怖主義ハ民衆革命ノ補充手段トシテ倫理的及政治的ニ承認サル可キモノデアル。併シ黨派ニヨリテ實行サル可キモノニシテ、箇人ガ任意ニ實行ス可キモノデナイ。

社會民主黨 恐怖主義ハ只民衆革命ヲ害スルノミニシテ、何等之ヲ益スルモノデナイ。

(7) 社會革命黨 總テノ革命黨ハ合同團結シナケレバナラス。

社會民主黨 他ノ革命黨ニ對シテハ精々ノ處デ同伴、協働ガ可能デアルバカリデアル。

(8) 社會革命黨 黨派ノ組織ハ中央集權的デアル。

社會民主黨 黨派ノ組織ハ地方分權的又ハ單位自治的デアル。

(9) 社會革命黨 共和政體ハ既ニ可能トシテ其ノ實現ニ努力ス可キモノデアル。
社會民主黨 共和政體ハマダ可能デナイ、而シテ吾人ハ先ヅ之ヲ可能ナラシム可キ形勢ヲ發達サセル爲メニ奮勵シナケレバナラス。

以上述ベシ處ハ、廣ク全體ノ上カラ見テ、社會革命黨ト社會民主黨トノ間ニ存スル主要ナル差異點ヲ指摘セルモノデアルガ、併シ社會革命黨内ニハ相爭フ「マキシマリスト」ト「ミニマリスト」トガアリ、又社會民主黨内ニモ相爭フ「ボルシエヴィキー」ト「メスシエヴィキー」トガアツテ、一黨内ノ兩派ノ主張ヨリハ、一黨内ノ一派ノ主張ト他黨内ノ一派トノ主張トノ方ガ、却テ相一致シテ居ルガ如キ場合アリ、兩黨ノ差異ヲ明確ニ決定スルコトハ甚ダ困難デアル。(未完)